

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。  
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。  
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。  
あらかじめご了承ください。

200

**CASIO**

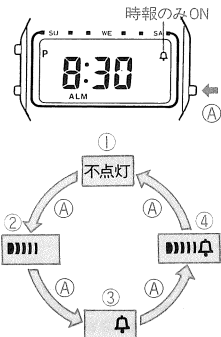
アラーム・1/100秒ストップウォッチ

**アラームクロノ**

**200**

使用説明書

- アラーム、時報のON/OFF
- アラーム表示のとき、(A) ボタンを押すごとにアラームマーク、時報マークが以下の順で点灯、不点灯をくりかえします。アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。
- ①アラームマーク、時報マークが消えているとき → アラーム、時報とも OFF
- ②アラームマークのみ点灯しているとき → アラームのみ ON
- ③時報マークのみ点灯しているとき → 時報のみ ON
- ④アラームマーク、時報マークが点灯しているとき → アラーム、時報とも ON



- 鳴っている電子ブザーを止めるには(A)(B)(C)いずれかのボタンを押します。
- アラーム表示のとき(A)ボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。(モニターアラーム)

### ストップウォッチの使い方……操作のしやすさにしたい、(C)ボタンを押してストップウォッチモードにします。

#### 確認 □ ST一点灯

ストップウォッチは1/100秒単位で59分59秒99まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

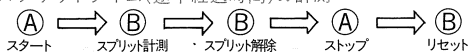
★計測のしかた……(A)ボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

#### ●通常の計測

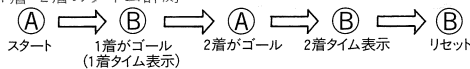


※積算計測……ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート (A) ボタンを押すすれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

#### ●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

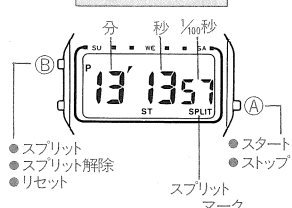


#### ●1着・2着のタイム計測



●ストップウォッチを使用中に(C)ボタンを押して時刻表示など他の表示にしても、その計測には影響ありません。ただしスプリット計測時(SPLITが点灯)にこの操作をしますとスプリットは解除されます。

#### ストップウォッチモード



### 製品仕様

- 水晶発振周波数: 32,768Hz
- 常温携帯精度: 平均月差±30秒以内
- 表示方式: FE型液晶デジタル表示
- 基本機能: 時刻表示=時・分・秒・午前/午後  
カレンダー表示=月・日・曜日(オートカレンダー、2月28日制)
- アラーム機能: 時刻アラーム セット単位=分 電子ブザー=20秒間  
時報 毎正時に2回電子ブザーで報時
- ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒 計測範囲=59分59秒99(60分計)  
計測機能=通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
- セット機構: 時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア)  
アラームセット機構、12/24時間制表示切替え
- その他: 自動復帰機能 モニターアラーム
- 主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 ワンチップC/MOS-LSI
- 使用電池: CR-2016 (電池別途販売)
- 電池寿命: 約5年(1日当り電子ブザーを20秒使用した場合)

REI128561A

### 秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

- (1)「操作のしやすさにしたい」(C)ボタンを押して時刻セットモードにします。
- (2)時報に合わせて、(A)ボタンを押すと「秒」が点滅しながら00からスタートします。

秒表示が00~29のときは切捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

- (3)(C)ボタンを押すと時刻表示に戻ります。



### アラーム機能の使い方……操作のしやすさにしたい、(C)ボタンを押してアラームモードにします。

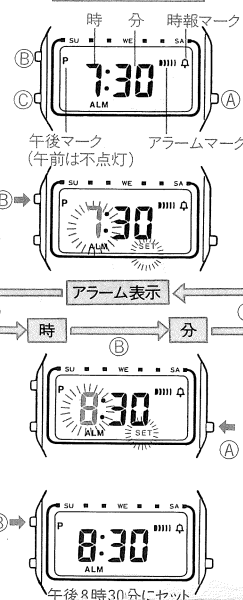
#### 確認 □ ALM一点灯

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると、20秒間電子ブザーで知らせます。また、毎正時(00分のとき)を「ビッピッ」と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

#### ●セットのしかた

- (1)アラーム表示のとき、(B)ボタンを押すと「時」が点滅します。  
※SET一点滅
- (2)(B)ボタンを押すごとに点滅個所が右図の順で移動します。
- (3)(A)ボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進みますので、(B)ボタンでセット個所を点滅させ、(A)ボタンでセットをおこないます。  
※(A)ボタンを押し続けると早送りができます。  
注)「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(P)にご注意ください。
- (4)セットが終わったら、(B)ボタンを押してアラーム表示に戻します。  
※(C)ボタンを押すと、「時刻表示」に戻ります。

#### アラームモード



このたびは、カシオデジタルウォッチをお買いあげくださりましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いただきますようお願い申し上げます。

なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

## ご使用上の注意

**防水性** ●裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているものは洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などのご使用はお避けください。

【防水性能を保つために定期的(2~3年を目安に)なバックシン交換をおすすめします。】

●裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。

**バンド** ●バンドは指が1本入る程度の余裕をもたせてください。

**お手入れ** ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いをすることをおすすめします。汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

**温度** ●直射日光が長くあつたり、高温になる所に放置しないでください。

また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。また+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

**ショック** ●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

**磁気** ●磁気の影響はありません。

**薬品類** ●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

**保管** ●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

## 電池交換について

**最初の電池** ●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

**消耗** ●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

**電池交換** ●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

## 液晶パネルの交換について

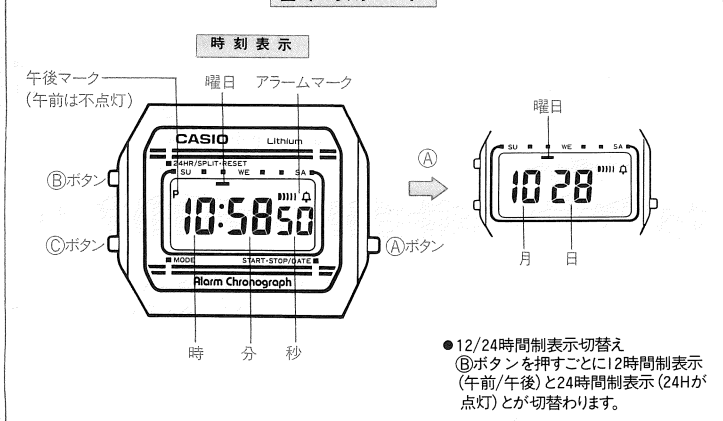
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

## 操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに下図の順でモードが切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)

※各モードで(A)または(B)ボタンを押した後、◎ボタンを押すと直接時刻表示に戻ります。詳しくは各機能の項目をご覧ください。

### 基本時刻モード



## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)「操作のしくみ」にしたがい◎ボタンを押して時刻セットモードにします。

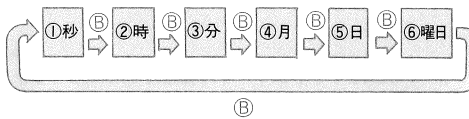
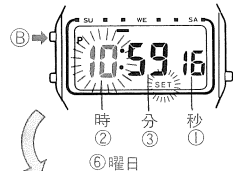
**確認** □「秒」が点滅していますか?



(2)◎ボタンを押します。

**確認** □点滅する個所が移動しましたか?

※セットモードのとき、◎ボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、◎ボタンでセットしたい個所を選びます。



(3)◎ボタンを押します。

**確認** □点滅している表示が1つ進みましたか?

※◎ボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、押し続けると早送りができます。

注)「秒」のときは表示が00になります。□「秒の合わせ方」参照



◎ボタンでセットしたい個所を選び、◎ボタンで表示をセットするという操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(P)にご注意ください。

(4)セットが終わったら(どの個所が点滅していても)、◎ボタンを押すと時刻表示に戻ります。



●カレンダーは大の月・小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日、あるいは電池交換のとき以外は修正不要です。

### 自動復帰機能

時刻セットモードやアラームのセットで表示を点滅させたままにしたり、アラーム表示のままにしておくと1~2分後自動的に時刻表示に戻ります。